

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	デジタル防災行政無線施設整備事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地域防災計画、津波避難計画、 地震津波対策推進計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	現在使用している消防通報無線は、消防無線用電波がアナログ波からデジタル波へ移行することに伴い平成28年5月から使用できなくなる。加えて、他団体では全国瞬時警報システム(J-ALERT)などの緊急情報を市民に即時伝達できているが、本市ではできていない。よって、主に学校等を中心に子局(受信局とスピーカー)を設置し、子どもたちのための安全安心対策を中心に、市内全域における防災行政無線の整備を図る。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	25年度に引き続き、本体工事と施工管理業務を実施し、26年度末には試験運転後、開局・運用開始予定。 26年度国費概算要望額: 事業費270,000千円(国費135,000千円) 主な内容(予定)機器類の設置(据付工事)①親局等庁内機器設置 ②再送信子局設置 ③子局設置 ④監視カメラ設備設置 ⑤J-ALERT自動転送設備設置 ⑥設置機器調整 ⑦試運転 ⑧開局・運用開始						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		デジタル防災行政無線の整備	本体工事・施工管理	本体工事・施工管理・運用開始	運用	運用	運用	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①消防庁舎(親局)のスピーカー等の設置及び機器の整備(J-ALERTを含む)。 ②屋外子局80箇所(うち再送信子局4箇所)の建柱及びスピーカー等の設置並びに機器の整備。 ③戸別受信機(文字表示付きも含む)の設置 ④「鳴門市防災行政無線局管理運用規則」や「鳴門市防災行政無線管理運用要綱」などを定め管理・運用方針を定めた。 ⑤3月11日の防災訓練にあわせデジタル防災行政無線を使用することで市民への周知を図った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 本体工事・施工管理	○	○	-	-	-	
	2			-	-	-	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	デジタル防災行政無線の整備	○	○	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況			完了		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額						0
		全体予算額	41,000		158,600			199,600
		決算額	41,000		150,550			191,550
		繰越額						0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
1.5				10,317	201,867			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：デジタル防災行政無線施設整備事業】
(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	282,146	191,550	—	—	—
	うち一般財源	249	0	—	—	—
	人件費		10,317	—	—	—
	総事業費	282,146	201,867	—	—	—

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		災害時における緊急情報等の伝達手段が多様化することで意義があると思われる。
	効率性	A:効率的だった		親局からの放送で市内一斉にかつ迅速に情報伝達ができるという点で効率的だと考えられる。
②成果に対する評価	指標名	デジタル防災行政無線の整備		平成27年3月の本格運用に向け計画的に整備を進め、計画通り3月11日に運用を開始できた。
	目標	本体工事・施工管理・運用開始	0	
	実績	○	0	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		上段①②によりA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度				
	H28年度				